

特集

Special
Feature
Article

平成30年

東北森林管理局長

年頭挨拶

東北森林管理局長

小島 孝文



新しい年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より東北森林管理局の業務

運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、秋田県南地域を中心に大雨による甚大な災害が発生した年でありました。東北森林管理局といたしましては、被災地の早期復旧に取り組みとともに、災害に強い森林づくりを進め、緑の国土強靱化に一層取り組んで参ります。

東北森林管理局管内の国土の31%を占める国有林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材等の林産物供給などの多面的な機能を有しており、国民生活に様々な恩恵をもたらす「緑の社会資本」であり、その役割はとても重要となっております。

こうした中で、国有林野事業においては、森

林の持つ多面的な機能を高度に発揮するため、公益重視の管理経営の推進、森林・林業の再生や地域の活性化など、我々の持つ組織・技術力その他資源を活用して、森林の整備・保全に取り組んでいきます。

さらに、先人たちの努力によって造り上げられてきた人工林資源が充実し、本格的な利用期を迎える中で、豊富な森林資源の循環利用が重要となっておりますが、新たな木材需要の創出、国産材の安定供給を図っていくため、民有林と連携した施業の推進や林業の低コスト化につながる施業モデルの展開、木材の新規用途開発のための試験協力、多様で活力ある森林づくり等を進めているところです。

そして、林業の成長産業化の実現と、森林資源を活用した地域の活性化を通じ、地方創生に貢献すべく職員一同取り組んで参ります。

一方、東日本大震災からの復旧・復興については、昨年末で海岸防災林復旧事業の進捗率が74%となっており、引き続き、治山事業による生育基盤造成工と植栽工を実施し海岸防災林再生

に向けた取組を行うとともに、土木用・住宅資材の需要増大に対応した木材の安定供給を行うなど、復興のさらなる加速化に向けて全力を挙げて取り組んで参ります。

東北森林管理局は、地域に根ざした組織として、これまで以上に国民の財産である国有林の管理経営を充実させ、職員一人一人が技術力を高めて、森林・林業・木材産業の発展に貢献できる取り組みを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年に当たつてのご挨拶とさせていただきます。